

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	運動学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年		学期及び曜時限	後期	教室名	903教室・基礎医学実習室
担 当 教 員	今中いづみ	実務経験とその関連資格	理学療法士として愛仁会リハ病院、三菱京都病院に勤務経験あり。医療安全管理学修士。認定理学療法士(学校教育)。3学会合同呼吸療法認定士。			
《授業科目における学習内容》						
<p>目標①:運動器の障害を理解するために必要な、人体の関節運動を理解できる。</p> <p>目標②:各関節の正常運動について、骨・関節・靭帯・筋・神経の働きを含めたメカニズムを説明できる。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>小テスト評価35%:大きな単元終了ごとに小テストを実施。その点数の50%を定期試験に加算する(7単元10点満点=35点分)</p> <p>定期試験評価65%:すべての範囲の試験を実施。65点満点とする。</p> <p>最終評価:上記2つの点数の合計が60点以上を合格とする。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>Donald A. Neumann 原著, カラー版筋骨格系のキネシオロジー原著第3 版, 医歯薬出版, 2013 年</p> <p>中村隆一他, 基礎運動学第6 版, 医歯薬出版(株), 2003 年</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>その単元の内容の解剖分野を復習しておくこと。</p> <p>前回の授業内容を事前に確認した上で、授業に臨むこと。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>授業への積極的な参加。教科書を読んで理解しようとする姿勢。グループワークと講義の切り替え。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	運動学の概要が理解できる。		PC・PP 骨模型・テープ	復習:関節包内運動	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション、運動学の基礎、関節包内運動				
第2回	授業を通じての到達目標	肩関節について学び、その構造を理解し、説明できるようになる		PC・PP 骨模型・テープ	予習:肩関節の骨・関節・靭帯の名称	
	各コマにおける授業予定	肩関節1:関節運動に関わる骨、関節の構造、関節包内運動、凹凸の法則				
第3回	授業を通じての到達目標	肩関節について学び、その構造を理解し、説明できるようになる		PC・PP 骨模型・テープ	予習:肩関節の骨・関節・靭帯の名称の暗記	
	各コマにおける授業予定	肩関節2:関節運動に関わる骨、関節の構造、関節包内運動、凹凸の法則				
第4回	授業を通じての到達目標	肩甲上腕リズムについて学び、その構造を理解し、説明できるようになる		PC・PP 骨模型・テープ	復習:肩甲上腕リズム	
	各コマにおける授業予定	肩関節3:肩甲上腕リズム				
第5回	授業を通じての到達目標	肩関節の筋について学び、その構造を理解し、説明できるようになる		PC・PP 骨模型・テープ	予習:肩関節の筋	
	各コマにおける授業予定	肩関節4:筋と関節の相互作用				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	肘関節について学び、その構造を理解し、説明できるようになる	PC・PP 骨模型・テープ	予習:肘関節の骨・関節・靭帯の名称
	各コマにおける授業予定	肘関節1:関節運動に関わる骨、関節の構造、関節包内運動、凹凸の法則 肩関節小テスト		
第7回	授業を通じての到達目標	肘関節について学び、その構造を理解し、説明できるようになる	PC・PP 骨模型・テープ	予習:肘関節の骨・関節・靭帯の名称の暗記
	各コマにおける授業予定	肘関節2:関節運動に関わる骨、関節の構造、関節包内運動、凹凸の法則		
第8回	授業を通じての到達目標	肘関節について学び、その構造を理解し、説明できるようになる	PC・PP 骨模型・テープ	復習:関節包内運動、凹凸の法則
	各コマにおける授業予定	肘関節3:関節運動に関わる骨、関節の構造、関節包内運動、凹凸の法則		
第9回	授業を通じての到達目標	肘関節の筋について学び、その構造を理解し、説明できるようになる	PC・PP 骨模型・テープ	予習:肘関節の筋
	各コマにおける授業予定	肘関節4:筋と関節の相互作用		
第10回	授業を通じての到達目標		PC・PP 骨模型・テープ	予習:手関節の骨・関節・靭帯の名称
	各コマにおける授業予定	手関節1:関節運動に関わる骨、関節の構造、関節包内運動、凹凸の法則 肘関節小テスト		
第11回	授業を通じての到達目標	手関節について学び、その構造を理解し、説明できるようになる	PC・PP 骨模型・テープ	予習:手関節の骨・関節・靭帯の名称の暗記
	各コマにおける授業予定	手関節2:関節運動に関わる骨、関節の構造、関節包内運動、凹凸の法則		
第12回	授業を通じての到達目標	手のアーチ等について学び、その構造を理解し、説明できるようになる	PC・PP 骨模型・テープ	復習:手のアーチ、手根管、テノデューシスアクション
	各コマにおける授業予定	手関節3:手のアーチ、手根管、テノデューシスアクション		
第13回	授業を通じての到達目標	手の筋について学び、その構造を理解し、説明できるようになる	PC・PP 骨模型・テープ	予習:手関節の筋
	各コマにおける授業予定	手関節4:筋と関節の相互作用		
第14回	授業を通じての到達目標	股関節について学び、その構造を理解し、説明できるようになる	PC・PP 骨模型・テープ	予習:股関節の骨・関節・靭帯の名称
	各コマにおける授業予定	股関節1:関節運動に関わる骨、関節の構造、関節包内運動、凹凸の法則 手関節小テスト		
第15回	授業を通じての到達目標	股関節について学び、その構造を理解し、説明できるようになる	PC・PP 骨模型・テープ	予習:股関節の骨・関節・靭帯の名称の暗記
	各コマにおける授業予定	股関節2:関節運動に関わる骨、関節の構造、関節包内運動、凹凸の法則		